

てんぎょう 轉教

2018 2 FEB

平成 30 年 2 月 1 日発行
第 19 卷第 2 号 通算 216 号
編集兼発行人 山本 久男
発行所 宗教法人 佛立本旨講 妙應寺
〒 113-0021
東京都文京区本駒込 6 - 6 - 11
☎ 03-5319-3490
FAX 03-5319-3491



(WEB 版)

信のとびら

御宝前を中心に

水谷随歡

寒参詣は、家族皆が協力してお参詣できていますか？ うまく協力してお参詣出来ている方を参考に、して家族に勧めてみてください。さて、御宝前について書きます。

御宝前は家の中心。人で言えば魂たましい。家であれば柱。すなわち、信心は我々の魂であり柱です。身も心も、仕事も家庭も信心を支柱しちゆうとすれば安定し、働きやすくなります。

御宝前を中心に生活するとはどういう事でしょうか。それは、朝起きたらまず「今日も命を授かりましたありがとうございます」と挨拶します。外出の時、「行ってまいります」、帰宅の時、「ただいま帰りました」、寝る時、「おやすみなさい」と御宝前にご挨拶する。そういう生活を御宝前中心の暮らし方といいます。御宝前にお初をさしあげる、荘厳にさせて頂くことも大切です。

さらに詳しく言えば、毎朝のお看経で、一日の無事を祈願することで

す。そして、その祈願の中にご奉公上の祈願が増えてくれば、さらにその人は信心を擲つかんだと言えます。夜のお看経では、その日の無事をお礼させていただき、反省点があればお懺悔して改良を誓う。そういった習慣が身に付けば、御宝前を中心とした生活が出来ているということですから、より一層御宝前のおかげを感じ取ることが出来るでしょう。

つまり、朝と夕方のお看経が日常生活とご奉公につながっている事が大事なのです。油断をすると日々

の生活や世間に流されて、功德を積むよりも、罪を作る場合の方が増えてしまいがちです。そうならない為に口唱に励み、祈願も改良の誓いも御宝前に伝える。こうした日常が身

に付けばお守り頂けます。
同居する家族にも、朝夕御宝前に御挨拶をする習慣を伝えましょう。その為に、喜んでご奉公に励む姿を見せ続けましょう。



随歡師が副御導師に



1月3日(水)、初総講後、御導師より、今

発表されました。

年の受け持ち御講師の紹介がありました。その中で「今年は、水谷随歡師を副御導師として任

これを受けて、水谷随歡師は「昨年より『轉教』の『信のとびら』を書かせていただくようになりました。また、蓮華会のお講を務めさせていただきました。平成30年を機に、御導師より住職見習いとしてご奉公しなさいと、ご指示をいただきました。まだまだ未熟者ではございますが今後ともよろしく願います」と抱負を語ってらっしゃいます。



命し、今後の勉強をしてもらうことになりました。皆さんも応援して下さい」と

2月ののご奉公のすすめ

今月は高祖日蓮大士ご降誕の月です。「ありがとう」という感謝の心で妙法を唱え、信行相続やお教化につながるよう根気強く励みましょう。

一、随喜轉教について

二月は受験シーズンです。お題目に継れば、必ず自身にとつて最善の道が頂けると本人・家族に伝え、家族にも班内教区にも応援祈願をすすめて下さい。

- ・「開講本旨再興祈願」朝参詣週間 1日(木)から7日(水)
- ・「開講本旨再興祈願」口国会

二、門祖会

25日(日) 午前9時30分

春のお会式門祖会は2月18日(日)に奉修されます。奉修費、御供米料は2月6日(月)までに教区でまとめて寺務所にご奉納下さい。日蓮聖人のみ教えを元もとの清き流れに戻して下さい。門祖日隆聖人への報恩感謝の思いで家族そろってお参詣させて頂きましよう。

三、御降誕会総講

お祖師様のお誕生をお祝い

第一座 10時

第二座 11時30分

2月の寺内行事予定表

1日～7日 開講本旨再興祈願

朝参詣週間

1日(木) 開講本旨再興祈願総講 10時30分

3日(土) 運営会議 9時30分

5日(月) 寒参詣終了

6日(火) 門祖会奉修費・参詣人数締切日

10日(土) 連合幹事会 9時30分

後続者育成連絡会 10時30分

11日(日) 高祖御降誕会総講

高祖大士御命日総講に併修 10時30分

11日～17日 門祖会無事奉修祈願朝参詣週間

願朝参詣週間

願朝参詣週間

願朝参詣週間

願朝参詣週間

願朝参詣週間

願朝参詣週間

願朝参詣週間

願朝参詣週間

し、2月11日(日)午前10時半より、高祖大士ご命日総講に併せて御降誕会総講が奉修されま
す。お祖師様のお陰に感謝し、さそいあつてお参詣させて頂き
ましょう。

四、平成30年度役員申請

本年度の寺内役員及び連合・教区役員を選び、受持講師を通じて事務局総務部に2月末日までに申請して下さい。次世代の方々にもお役を受けていただくようすすめ致します。

五、平成29年度

第三回信徒講習会

平成29年度最後の信徒講習会を左記の通り開催いたします。テーマは「如説修行抄」と「百

日参詣体操」です。都合をつけて受講しましょう。

六、静岡聞信寺団参

3月4日(日)は静岡聞信寺の門祖会団参です。当番参詣は第2地区です。他地区の皆さんも応援参詣させて頂きましよう。

七、れんげまつり予告

3月11日(日)10時30分より高祖大士御命日総講に併せてれんげまつりが開催されます。スライドやゲーム等盛り沢山の企画を用意しています。家族つれ立ってお参詣しましょう。

17日(土)	開導聖人御命日総講	10時30分
18日(日)	門祖会全体会議および準備ご奉公	12時30分
25日(日)	門祖会 開講本旨再興祈願口唱会(担当第一地区)	9時30分
28日(水)	若い人の口唱会	10時30分
	正副教区長会	10時30分
	一地区…1階ホール	
	二地区…和室	
	三地区…2階ホール	
	平成30年度地区・連合・教区・事務局役員申請締切	
	春季彼岸総回向	御塔婆申込締切

新年のご奉公が嬉まりました

平成30年の新年のご挨拶（全文はホームページに掲載）

一月一日

年頭のご挨拶



日在導師

これまで
で佛立
本旨講
妙應寺
が頂い
てき

たおかげを、今年は次の世代の方々に伝えていく一年になります。昨年は庫裏の御宝前を使ってお寺でお講奉修が出来るようになりました。これにより若い



講の未
来の発
展につ
ながり
ます。

方々、これからの方々をお講に参詣して頂きやすくなりました。お寺でのお講を通じて皆さんのご利益の体験、喜びの経験を伝えることがご弘通ご奉公の土台になりますので、奉修時間や曜日も工夫して、若い方々にもお講やお寺に参詣してもらいましょう。そのご奉公が佛立本旨

平成29年12月の寺内行事報告

- 1日～7日 開講本旨再興祈願朝参詣週間
- 1日(金) 開講本旨再興祈願総講を10時30分より奉修
- 2日(土) 運営会議を9時30分より開催
- 3日(日) 蓮華会・くんげ会合同御講を10時30分から奉修
- 9日(土) 連合幹事会を9時30分より開催
- ” 後続者育成連絡会を10時30分より開催
- 10日(日) 開講本旨再興祈願口唱会を9時30分から奉修

また、年明け早々から寒参詣が始まりますが、今年は特に次の世代に伝えるべき一年でありますので、ご自分の参詣ももちろん大事ですけれども、ご家族の協力を得て参詣が続くというように工夫をこらして頂けると大変ありがたいと存じます。

一月二日

本堂護持ご有志について

水谷随歓師

本堂は無事建立出来ましたが銀行からお金を借りています。今後18年の歳月をかけて返済してゆかねばなりません。各教区班内の方々へのご披露を徹底してください。ご家族にもれなく



伝えて
頂き、
皆でお
寺を支
える意
識を高
めてく

ださい。本堂護持ご有志に参加して頂きましょう。開筵式に参加してくれた、若い方々にも本堂護持御有志に少しでも参加して頂けるように勧めてください。

また、昨年の台風で二階の和室が雨漏りしました。築20年になる建物です。

今月中ごろより、屋上の防水工事やタイルの張替えなど、補

担当Ⅱ第一地区

13日(水) 高祖大士御命日総講を

10時30分より奉修

17日(日) 開導聖人御命日総講を

10時30分より奉修

25日(月) 門祖聖人御命日総講を

10時30分より奉修

// 正副教区長会を12時30

分より開催

// 教講ご奉公納め

25日(日) 31日 年末御礼朝参詣

26日(火) 御炭代・お鏡餅料奉納締

切

31日(日) 年末御礼参詣を16時よ

り奉修

(元日会・初御看経準備)

修工事をすることになりました。この工事は、建物を長く維持するための大切な工事です。こちらのご有志も併せてご協力の程のお願いします。

一月三日

お寺参詣の促進について

根緒泉溪師

今年は、活気あふれるお寺を目指して、次の世代のご奉公者の増加を目指して、お寺参詣に力を入れて、諸ご奉公を促進してまいります。

ある家族のお話です。ご主人が、ぜんそくと、血圧が高めの症状が長年続いているのですが、今年は、なんとか此の病状



が改善される御利益を頂いてもらいたいので、身体の調子を見ながら、お寺参詣を共連れできせて頂こうと、決心した方がいらっしやいます。

開導聖人は御指南で、身体は

大変でも、お参詣なさいませ、どのような御願も不成就ということはあり得ませんと、仰せです。この御指南の心をしっかりと頂いて、ご奉公に励ませて頂きましょう。

一月四日

初燈明料について

神野照報師

このご有志の基本的な考えは、仏法僧の三宝を護持する信心修行です。この淨財による法城護持は、ご弘通を支える最も貴いご奉公です。

財のご奉公で大切な事は「お初」という事です。御法様にお

初穂をさしあげる精神が大事な
のです。

あるご信者さんは、毎月の給
料から必ず御宝前用にとお初を
取り、その中から初灯明料を取
り分けて、功德箱の分と合わせ
て毎年奉納させて頂いているそ
うです。お陰で家族全員健康に



過ごさせて頂いております、と
喜びを語っておられました。

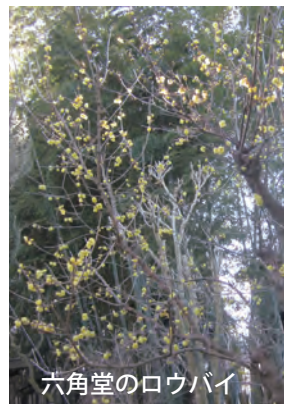
この様にお初穂の精神でさせ
て頂くご有志は功德甚大です。
教区で取り纏め、今月の三十一
日迄に、本堂寺務所窓口にお納
め下さるようお願い致します。

一月五日

寒参詣について

糠谷信章師

寒参詣は、日蓮聖人が佐渡の
酷寒に耐え、妙法の真実を証明
しようとなさったご苦心を偲ん
で、寒中の一か月間を寒さに負
けずに参詣に励もうという報恩
ご奉公として日歡上人が始めら
れました。



六角堂のロウバイ

今年は特に家族班内信徒に寒
参詣の喜びを体験して頂きたい
のです。私達自身が相手を決め
て参詣将引の目標を立てご祈願
をかけ実践する、本人にも参詣
予定を決めてご祈願をかけて共
連れ参詣の約束をするのです。
信心の喜びは体験しなくては本
物にはなれません。信心を深め
るには信心の体験を積み重ねて
ゆくほかありません。

皆で寒参詣に励みましょう。

《山本久男事務局長あいさつ》

昨年は「教化」がテーマでした。御導師は、毎月長野教区、小田原教区、水戸教区、栃木教



区、妙証会のお助行に行かれ、各地区では、後続者育成助行を毎月実施して下さいました。男子信徒助行も活発に行われ、その結果、新教化も数軒できました。

今年、生涯現役でご弘通ご奉公させて頂けるよう頑張りましょう。昨年伺いました栃木教

寒参詣促進の標語、俳句を作りましょう

今年も寒参詣に皆さんの熱い思いを込めて行われています。

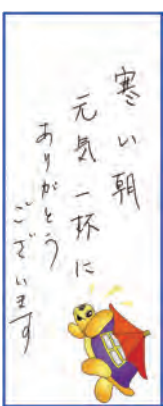
家族参詣に力を入れようという今年の目標にちよえて、1階ロビー、本堂入り口には沢山の標語、俳句などが掲示されています。みなさんも参詣促進のため

一言を添えてみませんか。



初日の6日(土)には、第一地区地区長の川崎彊さんから、「一年の計は寒参詣にあり。妙

区の原田さん、今年百歳になられますが、デイサービスで元気にお過ごしです。ここにお参詣されていらつしやる方は皆様はまだまだ若者。生涯現役で御弘通ご奉公に邁進させて頂くことが、日尚上人への報恩ご奉公につながります。皆様と共に頑張りましょう。



應寺の隆昌発展のための大切な修行です。我らが尊師、日尚上人に良き報告が出来るよう、寒参詣を頑張りましょう」と激励の言葉をいただきました。

お教化特集

娘のご本尊奉安

振上信博師



12月24日、娘の所に小御本尊の奉安が終わる。慌ただしい中での奉安で細かいことまで話せず。地元の教区に所属して、ゼロから出発となる。

娘は、子供のころから母親に連れられて、姉弟と一緒にお寺参詣をしていた。しかし、細かいところまでは何も教えていない。

最初、一人で住むといった時、心配でご弘通御本尊を頂いてお祀りしたが、その時は親がかり

で、ただお祀りしてお守りを頂くようにという思いだけだった。仕事が変わり、転居したとき部屋が狭くて祀れず、御本尊返納という形になってしまった。

それから3年、バスケットの練習中に足を骨折。痛みと周りの応援祈願のおかげを感じ、この度再度の転居に当たり、御信心の大事を感じたか、素直に奉安を受け入れた。

今度は、教区に所属し、独

立して信心をさせて頂くことになる。近間に御信者さんがいてお世話になる。お初を取り、その中で、弘通会費、御有志、御講願主の布施供養等をさせて頂く。功德の貯金をと教える。

毎日毎日の積み重ね、それが自然と身について来るまでが大変だけど、それを乗り越えて進んで欲しいと願う。

■私のよろこび

母の姿を通じて

港教区 Iさん

港教区のOさんと初めてお会いしたのは、私が城西から港教区に移籍してきたばかりの甲御講Oさんのお席でした。義母のKさんが席主を務め、Oさんはお台所で御奉公されておりました。少し病気がちと聞いておりましたが、テキパキとした姿に頼もしさを感じたことを覚えております。

今年でKさんは三回忌を迎えました。通夜、告別式もご主人のHさんとご信心のことはわからないと細かいことまで聞きに

来られ、立派に努められました。

Oさんはお手伝いしながら、Kさんのお給仕を毎日そばで見ている、覚えられたとのことでした。所作も気持ちもすっかり見習われ、何時お助行に伺っても、きれいな御宝前には驚きを感じております。Kさんの三回忌も終

■私のよろこび

不慮の災難も

富里教区 Sさん

わり、御宝前はすっかりOさんの御宝前になり、さわやかなお花に囲まれ、Hさんと二人でお義母さんが大事にされていたご信心をしつかり受け継ぎされました。

お二人での本堂、御講参詣成就と息子さん達への信行相続を応援しております。そして、二人がここまで来られたのは、Tさんの地道なご奉公の賜物と感得しております。

娘、Mの夫Yは先月二日夕方に、自宅にて体調不良を訴え市

内医療センターに救急搬送されました。くも膜下出血と診断さ

れるも、意識会話障害もなくハッキリしていました。ここでは大きな手術はできないからと、翌日北総病院へ転院しました。知らせを聞いたときは地面に叩きつけられたような強い衝撃を受けました。誰よりも奈央の誕生を喜び幸せな毎日だったのに：

「お母さん拜んでね」と言う娘の声に大丈夫、大丈夫だから御宝前にお願いしようね：

御導師はじめお講師方そして、ご信者の皆様沢山の応援を頂きました。そして、メールや電話での激励も頂きました。本当にありがたいございました。入院中は一、二、三、四回とカ

テーテル検査を行うも、いずれも出血箇所が見つからず、太い血管は大丈夫、出血した血液は良い状態で吸収されている「稀

■私のよろこび

思いを込めて

世田谷教区 Kさん

私の現在のご奉公の喜びをお伝えします。目黒のお寺で初めての信者の運僧ご奉公が発足して以来私もご奉公させて頂いております。ご奉公当日は、今日もご信者さんの願いのこもった御祈願を無事に御導師の元にお運び出来ますよう御宝前にお願いし、毎回緊張しながら一呼吸おいてから進みます。御宝前

なくも膜下」と言われたそうです。一抹の不安は残りますが十月二十七日無事退院することが出来ました。

の前でお祖師様があまりの近さに自然とありがとうございますと頭が下がります。間近で拝顔させて頂けるすばらしさに本当にありがとうございます。また、今年からご披露ご奉公もさせて頂いており、何度も読み返し内容を確認してからご信者さんが聞きやすいように伝えたいと努力しております

す。運僧、ご披露ご奉公をす
めてくださった方々に真摯に感

謝しながら、これからは更に、
若い人たちを育てるお手伝いを

させて頂きたいとおもいます。

後継者育成活動報告

子供たちの支えで

所沢教区 小林 亘



第三地区豊島連合川越教区の

細田孝さん宅で、後継者育成助
行を開催させて頂きました。参
詣者は七名でした。

細田さんには、四人のお子さ
んがいます。孝さんが癌の手術
をし、自宅療養中には長女の理
恵さんは栄養面を考え、食事の
時には、おかずを作って届けて
くれます。また、次女の裕美さ
んは孝さんの体をふいて、マッ

サージもしてくれれます。長男の

達也さんは、入院費の面倒をみ
てくれます。次男の明寛さんは、
洗車や家の雑用をしてくれる。
と孝さんは、嬉しそうにお話し
してくれました。

子供達も、それぞれ、結婚し
家庭もあります。が、家事や仕事
の合間を見て、お父さんの看病
をしてくれます。本当に親孝行
な子供達です。

また、信行相続を担った、こ
れからの次世代信徒ですから、
大切に育成ご奉公に精進させて
頂かなければ、御弘通ご奉公に
なりません。

親のことを親身になってお世
話できる、優しい子供達です。か
ら、きつとお祖師様の弟子旦那
として、親を慕う様に信心を継
承して頂ける様に応援させて頂
きたいと思えます。

★こどもたちの会★

こどもも 「子供におじゆずを持たせたい！」

<p>⑥ 次の日の自宅での お講でー</p> <p>ありがとうございます!!</p> <p>ハイ! どうぞ!</p>	<p>①</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>見て見て! おじゆず頂けたんだよ!!</p> <p>新しいの?! 良いネ!!</p>
<p>⑦ 一人一人におじゆずを渡して頂きます。</p> <p>毎日のお着経をしかり頑張っておじゆずを大事にして下さいね。</p> <p>ハイ!</p> <p>葉ど、ありがとうございました。</p>	<p>②</p> <p>今までは、まだ子供が小さいからと買わずにいたんですか...</p> <p>オモチャにされたら困っちゃいますもんね。</p>
<p>⑧</p> <p>今回初めて受けたお講だったので、今までは子供が小さいからと、お断りして...</p> <p>たしかに、準備やらご奉公やらで大変に感じてしまいますからね。</p>	<p>③</p> <p>子供用のおじゆずだわ。</p> <p>お寺でふと...!</p> <p>いつもなら、気にも止めなかったのですが...</p>
<p>⑨</p> <p>でも今は、お講をお受けして、本當に良かったと思っています!!</p> <p>きっとこれから気持ち良く受けさせてもらえますよ!</p>	<p>④</p> <p>負心になりました。</p> <p>よし! 子供たちにもおじゆずを持たせよう!</p>
<p>⑩ その後子供たちは...</p> <p>おしりの時間だけ、お着経してる!</p> <p>南〇~経</p>	<p>⑤</p> <p>そうね! そうして頂こう!!</p> <p>おじゆずをお開眼して頂いたら良いわ!</p> <p>母にもー</p>

